



## 平成26年台風11号洪水における早明浦ダムおよび柳瀬ダムの 洪水貯留効果について

台風11号洪水により8月8日8時からの流域平均総雨量は、早明浦ダム上流域で378mm、銅山川流域で333mmを記録しました。（8月10日20時現在）

この降雨による洪水に対し、早明浦ダム及び柳瀬ダムでは洪水貯留を行い、下流の被害軽減に努めました。

	早明浦ダム	柳瀬ダム
最大流入量	毎秒 2,229 m <sup>3</sup>	毎秒 727 m <sup>3</sup>
観測時間	8月10日04時50分	8月10日03時50分
最大流入時放流量	毎秒 1,232 m <sup>3</sup>	毎秒 640 m <sup>3</sup>
最大流入時調節量	毎秒 997 m <sup>3</sup>	毎秒 87 m <sup>3</sup>

もしダムが整備されていなければ、早明浦ダム下流の本山橋（本山町）地点で1.42m、三好大橋（三好市井川町）地点で21cm水位が上昇していたと推定されます。

※本資料における数値は、現時点の速報値であり、今後修正する可能性があります。

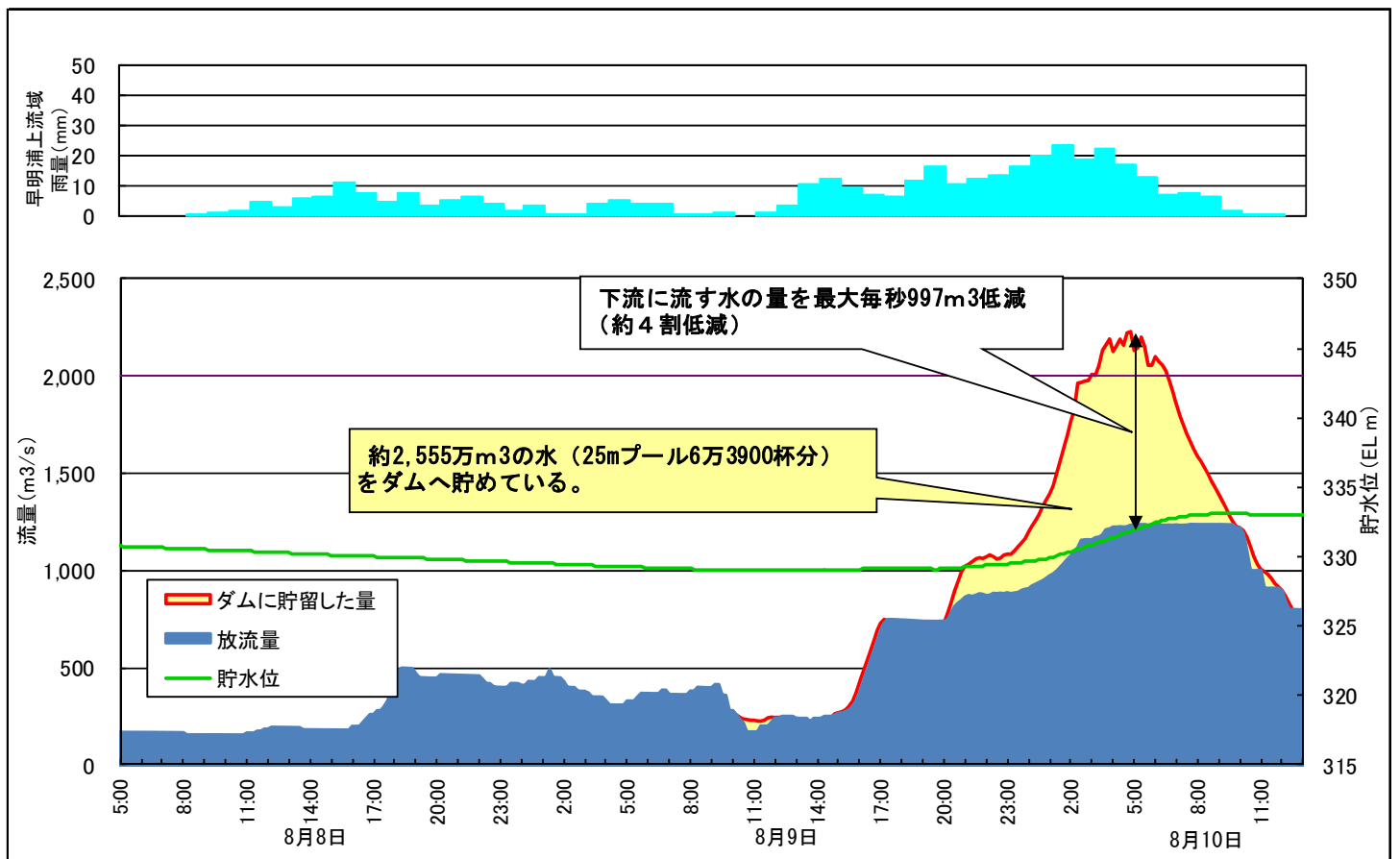
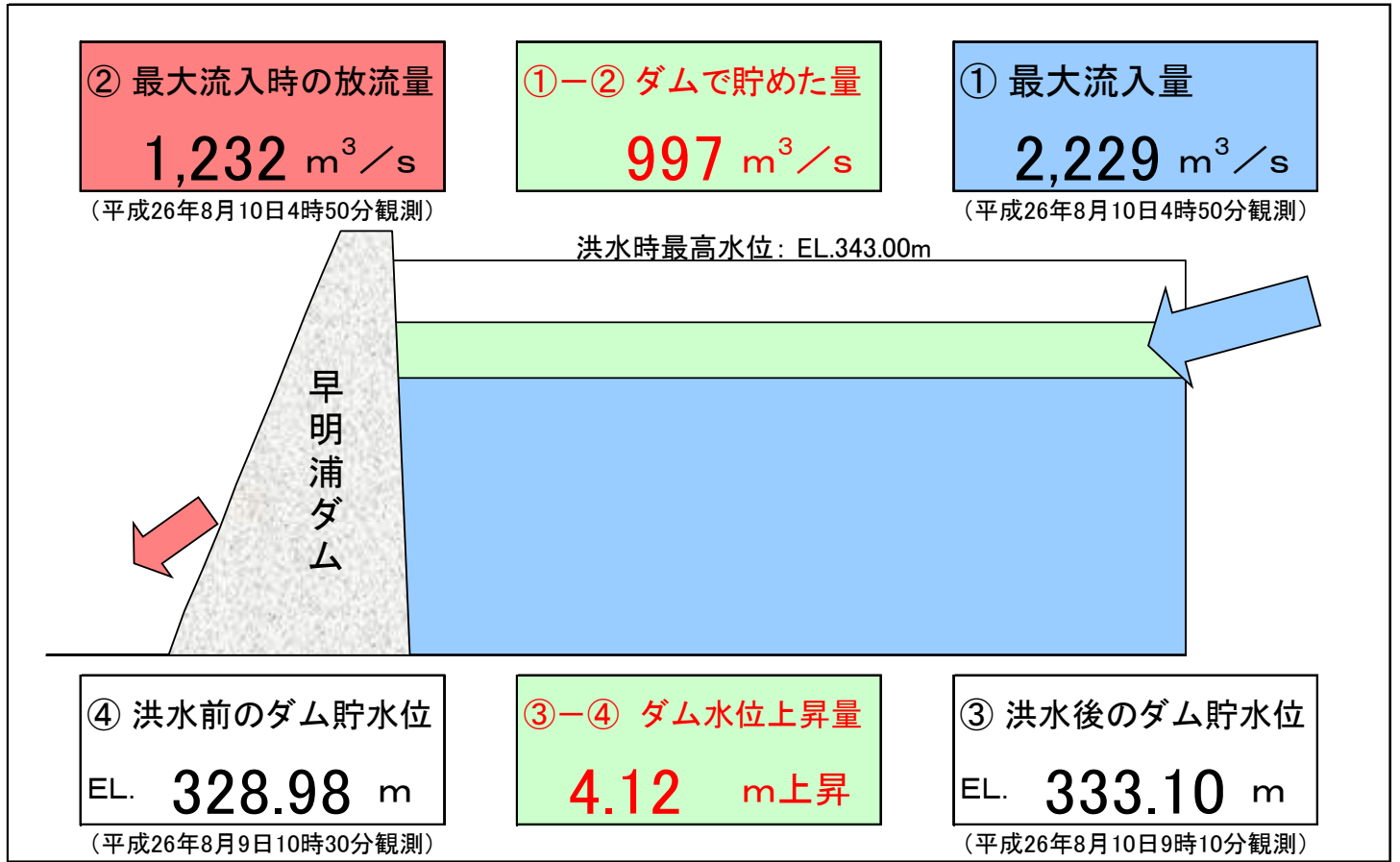
平成26年8月12日

国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所  
独立行政法人水資源機構 池田総合管理所

～ 大自然の恵みを暮らしに活かす ～ 柳瀬ダム管理60周年	
国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所	
事業対策官	シラカ マサル 白川 勝 （内線208）
○管理課長	オクニ タクオ 大谷 忠夫 （内線331）
(TEL) 0883-72-3000	
独立行政法人水資源機構 池田総合管理所	
第一管理課長	スギウラ トモフミ 杉浦 友宣 （内線331）
(TEL) 0883-72-2050	

○: 主な問い合わせ先

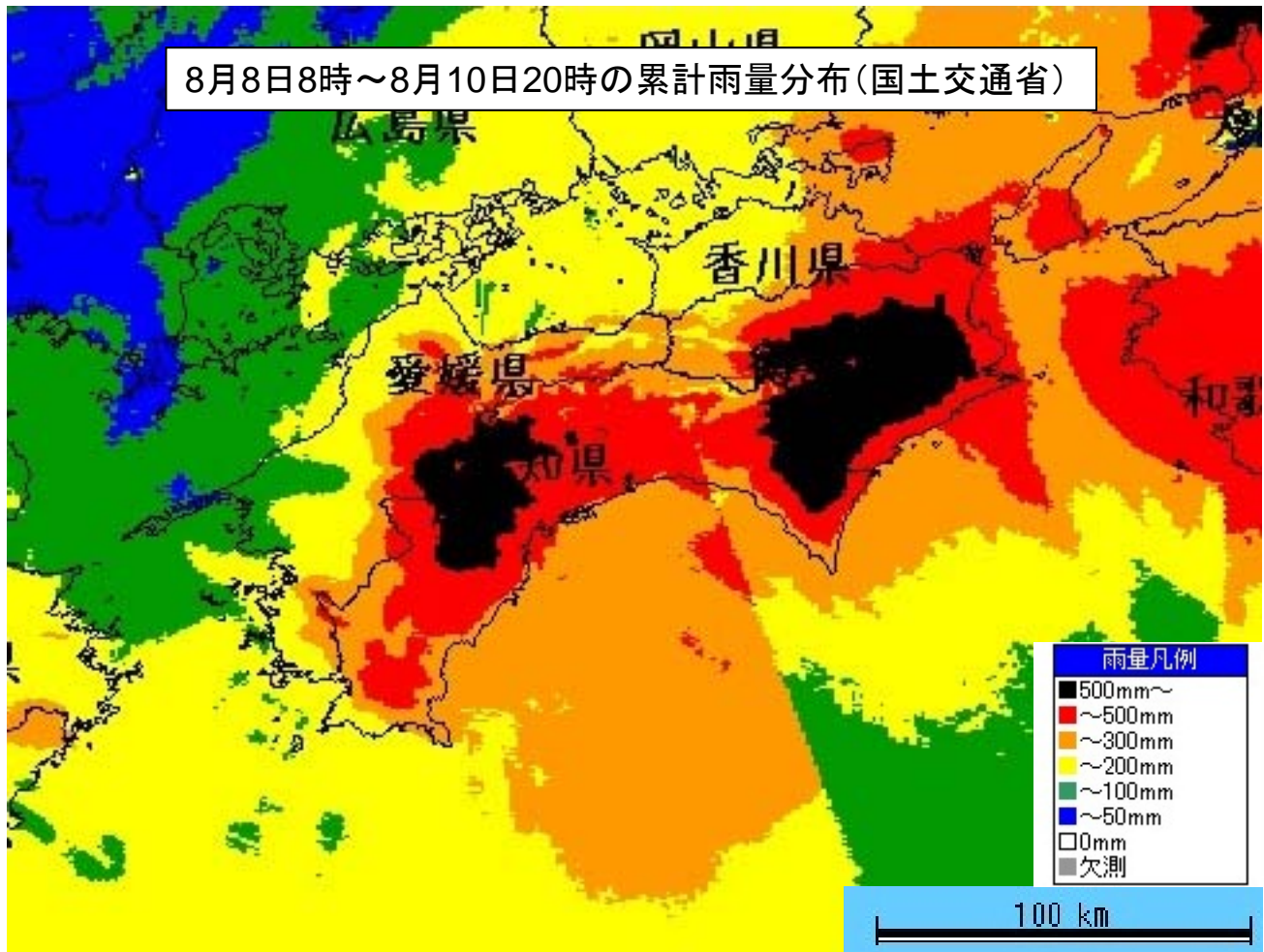
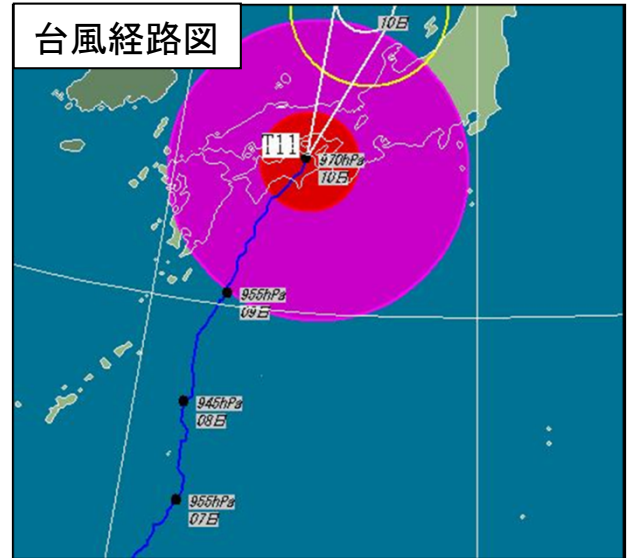
# 平成26年台風11号の早明浦ダムにおける洪水貯留効果



※25mプールは長さ25m、幅16m、深さ1mとし換算した数値

# 治水事業の効果 ～平成26年8月10日 台風11号による大雨における事例～

○台風11号の影響で8月8日8時から8月10日20時までの流域平均総雨量は早明浦ダム上流域で378mm、銅山川流域で333mmを記録しました。



## ダムが効果を発揮(早明浦ダム他)

早明浦ダムで貯留した結果、早明浦ダム下流本山橋付近の水位を **1.42m低下**させる効果があり、仮にダムが整備されていなかった場合、はん濫注意水位を超過していたと推定されます。

また、吉野川上流ダム群で貯留した結果、池田ダム下流の三好大橋付近の水位を **21cm低下**させる効果があり、仮にダムが整備されていなかった場合、はん濫危険水位を超過していたと推定されます。

